

尾道市立高見小学校研究構想図

《児童の実態》

- ◎粘り強くやりきろうとする児童が多くなってきた。
- △問題文を読み取れていなかったり、日常生活と結びついた問題の正答率が低かったりする傾向が見られた。
- △交流活動の中で相手意識や目的意識を持ちながら表現する力が十分ではない。

《学校教育目標》

- 未来を拓き 人間力豊かに
学び続ける高見っ子の育成**
- ～気づき、考え、幸動する子供～
- よく考え、よく学ぶ子供
 - 心豊かな思いやりのある子供
 - 明るく元気な子供
 - 果敢に挑戦する子供

《地域の実態》

- 山と海といった自然環境に恵まれている。
(干汐・立花海岸、国立公園高見山等)
- 学校の周りで、ホタルや干潟・磯の生き物を見ることができる。
- 学習を支援してくださる施設や団体がある。(洋らんセンター、向島漁協、広島大学臨海実験所等)

【研究主題】

科学的な見方・考え方を基盤とする表現力の育成
～考えを深める交流活動を通して～

【研究仮説】

- 教科の本質を踏まえながら、次のような手立てを講じることで、表現力を高めることができるであろう。
- ①児童が「なぜだろう」「やってみよう」「解決したい」と主体的に科学的な見方・考え方を働かせることができるような問いを設定することで、実感を持った授業展開を行う。
 - ②児童一人一人が考えたことを基に意図的に交流活動を仕組み、意見交換したり議論したりする際、発言を促したり、気付いていない視点を提示したりするなど、学びに必要な支援・指導の在り方を追究し、必要な学習環境を積極的に設定していくことを通して、新たな考え方に気が付いたり、自分の考えをより妥当なものとしたり、新たな性質を考察したりできるようにしていく。

《主体的に学び続けるために》

- ・日常生活との関連を踏まえた「本質的な問い」「単元を貫く問い」の設定により、持続した学びへとつながる学習者基盤の単元構想の設定
- ・根拠を基に科学的に表現する活動の充実
- ・授業設計評価マトリクスの作成による、授業のねらいや単元のねらいを達成した児童の具体的な姿の明確化
- ・国語科・算数科・理科における基礎学力定着のためのやりきりタイムや家庭学習の充実
- ・まとめのノート作りによる知の構造化
- ・振り返り活動の充実

科学的なものの見方・考え方・能力を働かせるための単元構想

素地となる基礎学力の向上

授業設計評価マトリクスを活用した指導と評価の改善とインクルーシブ教育の視点に基づいた手立て

意図的な交流活動の設定

《科学的に表現するために》

- ・自力解決において考えを持たせるための手立ての工夫
- ・ペアワークやグループワークなど、視点を明確化した意図的な交流活動の設定
- ・意見交換したり議論したりする際、発言を促したり、気付いていない視点を提示したりするなど、学びに必要な支援・指導の在り方の追究
- ・相手意識や目的意識を持ち、中心を明らかにしながら、筋道立てて表現する活動の充実
- ・教職員による月1回のノート交流による表現力の共通理解
- ・個のつまずきを想定し、ねらい達成のためのインクルーシブ教育の充実

【道徳教育重点目標】

豊かな心を培い、進んで取り組み、他者と協働して粘り強く実践する子を育てる

【重点価値項目】

- ◎不撓不屈 ◎親切
- ◎生命尊重 ◎郷土愛

《総合的な学習の時間》

- ◆環境教育と地域素材を関連付けたカリキュラム「海と山 大好き向島」の充実
- ◆各教科及び総合的な学習の時間、特別活動を見通したカリキュラム・マネジメントの実施と改善

【めざす学校像】

関わり合い、学び合い、ともに伸びる学校

【めざす組織像】

目標に向かって「チーム高見」として協働できる組織

【めざす職員像】

志と教育愛をもち、自己を磨く職員
ワークライフバランスを大切にする職員

【めざす授業像】

児童が学ぶ意欲をもち、主体的に学び、表現力を育てる授業

向島中学校区スクールミッション

小・中連携教育を基盤としたカリキュラム・マネジメントの推進による主体性・表現力の育成